

科目名 (科目番号)	臨床血液学 (101161)	教員名 吉田 保子	学科等	臨床検査	必修	履修年次	1
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
			オフィスアワー		前期水4.5 後期水3.4	B321研究室	
授業概要	血液検査学の基礎としての血液学を学び、血液の成分、生理、機能を説明し、また血液疾患との関連についても理解できるようにする。血液の成分とその産生と崩壊の機序、代謝、生理、機能を解説し理解させる。また、血液疾患については症例ごとに解説する。さらに、血液検査結果と血液疾患との臨床的意義について解説する。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	血液の基礎 - 1	到達目標:血液検査学の発展・意義、血液成分を理解する。 学習目標:血液検査学の発展・意義、血液成分について学修する。				
	2	血液の基礎 - 2	到達目標:血液の性状、機能を理解する。 学習内容:血液の性状、機能について学修する。				
	3	血液の基礎 - 3	到達目標:血球の産生と崩壊を理解する。 学習内容:血球の産生と崩壊について学修する。				
	4	血球:赤血球 - 1	到達目標:赤血球の産生と崩壊を理解する。 学習内容:赤血球の産生と崩壊について学修する。				
	5	血球:赤血球 - 2	到達目標:赤血球の生化学(エネルギー代謝、ヘモグロビンの代謝・分解)を理解する。 学習内容:赤血球の生化学(エネルギー代謝、ヘモグロビンの代謝・分解)について学修する。				
	6	血球:赤血球 - 3	到達目標:赤血球の生化学(鉄の代謝、ビタミンB12の代謝、葉酸の代謝)を理解する。 学習内容:赤血球の生化学(鉄の代謝、ビタミンB12の代謝、葉酸の代謝)について学修する。				
	7	血球:白血球 - 1	到達目標:白血球の産生と崩壊を理解する。 学習内容:白血球の産生と崩壊について学修する。				
	8	血球:白血球 - 2	到達目標:白血球の形態と機能(好中球)を理解する。 学習内容:白血球の形態と機能(好中球)について学修する。				
	9	血球:白血球 - 3	到達目標:白血球の形態と機能(好酸球、好塩基球、単球、リンパ球)を理解する。 学習内容:白血球の形態と機能(好酸球、好塩基球、単球、リンパ球)について学修する。				
	10	血球:血小板	到達目標:血小板の産生と崩壊、形態と機能を理解する。 学習内容:血小板の産生と崩壊、形態と機能について学修する。				
	11	止血機構 - 1	到達目標:止血機構の血管収縮と血小板の働きを理解する。 学習内容:止血機構の血管収縮と血小板の働きについて学修する。				
	12	止血機構 - 2	到達目標:血小板機能(粘着・凝集・放出)を理解する。 学習内容:血小板機能(粘着・凝集・放出)について学修する。				
	13	血液凝固・繊維素溶解系 - 1	到達目標:血液凝固(凝固機序・凝固因子)を理解する。 学習内容:血液凝固(凝固機序・凝固因子)について学修する。				
	14	血液凝固・繊維素溶解系-2	到達目標:繊維素溶解(線溶)の機序、線溶因子、制御機構を理解する。 学習内容:繊維素溶解(線溶)の機序、線溶因子、制御機構について学修する。				
15	血液凝固・繊維素溶解系-3	到達目標:分子マーカー、出血性素因と検査法、血栓症と抗血栓療法を理解する。 学習内容:分子マーカー、出血性素因と検査法、血栓症と抗血栓療法について学修する。					
成績評価の方法・基準	期末試験 (90%) + 小テスト (10%)						
教科書	最新 臨床検査学講座「血液検査学」/血液細胞症例集	奈良信雄、他 著/監修:一般社団法人日本臨床衛生検査技師会			医歯薬出版/丸善出版		
参考図書	血液検査技術教本	監修:一般社団法人日本臨床衛生検査技師会			丸善出版		
教員からのメッセージ	毎回授業内に小テストを行います。小テストは採点をして授業内で返却します。昨年度の授業評価アンケート結果に基づく改善を施します。						